

ガラス産業の発展に向けて



経済産業省住宅産業窯業建材課長

渡邊 昇治

Watanabe Shoji

日頃より経済産業行政にご支援、ご協力いただき御礼申し上げます。

さて、昨年 3 月の東日本大震災の影響による電力供給の問題につきましては、震災直後の計画停電、夏期の節電対策など、ガラス産業の皆様にも大変な協力をいただきました。今後も電力供給の制約は続く見通しであるところ、省エネに向けた取組みは電力のピーク対策等の観点からもますます重要になります。

こうした状況の中、経済産業省では総合資源エネルギー調査会省エネルギー部会において電力のピーク対策も視野に入れた省エネ法の改正に向けた検討、民生（業務・家庭）部門の省エネ対策等の議論を進めているところです。

多くのエネルギーを消費しているガラス産業では、これまでも積極的に省エネ対策に取り組まれています。また、産学連携によるプロジェクトとして、ガラス製造における溶融プロセスを抜本的に見直し、大幅な省エネに資する革新的ガラス溶融プロセス技術開発に取り組んでいます。こうした取組みはガラス産業の一層の省エネ対策につながるのみならず、競争力の強化にもつながると考えます。

他方、民生部門の省エネ対策は、オフィスや家庭に我慢を強いる省エネ対策には限界があり、持続性のある省エネ対策を進めていくことが必要です。機器の省エネ性能の向上の他、住宅・建築物全体の省エネ性能の底上げに今後も取り組むことが重要と思います。

ガラス産業におかれましては、これまでの貴重な経験・実績を十分に活かされ、従来のガラスの枠を超えた将来のガラス技術の開発にも取り組まれています。高度な技術を活用し、革新的な部素材、製品の開発等を通じた付加価値の創造により、新たなビジネスチャンスにつなげ、社会・生活の質の向上に貢献されることを期待しています。

技術開発等への果敢な取組みは、我が国ガラス産業の持続的な発展、成長につながるものであり、経済産業省といたしましても、種々の取組みを通じて支援に努めていくことと

しています。

最後になりますが、経済産業行政にご理解とご協力をお願いいたしますとともに、ガラス産業関係者及びニューガラスフォーラムの皆様がより一層のご活躍・ご発展を遂げられることを期待いたします。